

- 2 高齢者の外出支援を充実
- 3 子育て専門相談員を配置
- 4-5 特集
自転車事故から身を守れ
- 6-8 街の話題/コラム/お知らせ



民生委員・児童委員

地域と共に100年

地域の高齢者を優しく見守る若林さん



子育てサロンの運営や放課後児童パトロールなど、児童福祉を専門に担当しているのが、主任児童委員です。主任児童委員の花上麻理子さん(43・旭町)は「楽しみながら子育てができる地域にしていきたい」と、地域の親子と触れ合う時間を大切にしています。

厚木市民児協 25-22000

住み慣れた場所でも自分らしく生きていくには、助け合うことが必要です。民生委員はこれからも地域に寄り添い、支え合いの輪を広げていきます。

「いんこちは、お元気にしていますか。何か困ったことはありませんか」「いつもありがとうございます。おかげさまで元気にやっていますよ」。近所に住む高齢者に優しく声を掛けるのは、民生委員の若林紀美枝さん(50・妻田東)です。「自分もお世話になった地域の役に立ちたい」と委員になって7年。交流を大切に、地域住民との信頼関係を築いています。

民生委員は児童委員を兼務し、高齢者の自宅への見守り訪問や、児童館での子育てサロンの運営などに取り組みます。市内では5月1日現在、296人の委員が、地域福祉の重要な担い手として活動。住民が抱える介護・福祉・子育てなどの幅広い悩みを耳を傾け、解決に向けたサポートをしています。

5月12日は、制度発足を記念する「民生委員・児童委員の日」です。さらに今年には、民生委員制度創設100周年を迎える節目の年でもあります。市民生委員児童委員協議会の井上敏昭会長(74・王子)は「100年続いてきたということは、いつの時代にも必要とされてきたということ。都市化や核家族化が進み、隣近所の付き合いが希薄になりがちな現代だからこそ、私たちの存在を知って、何か困った時は頼ってほしい」と地域に温かいまなざしを向けます。



移動に便利で、いざという時にも安心なタクシー

タクシー助成の対象となるのは、世帯員全員が85歳以上の方です。これら

県内初のタクシー助成

市では、高齢者が積極的に社会参加し、健康で生きがいに満ちた生活を送れるよう、高齢者の外出を支援していきます。これまでのバス助成に加え、新たにタクシー助成を導入。多様なニーズに対応し、外出に伴う負担を軽減します。

Zoom Up

「タクシー助成」を新たに導入

高齢者の外出支援を充実

5月1日から、85歳以上で要件を満たす方にタクシー利用券の交付（タクシー助成）を始めます。これまでの、バスの割引乗車券「かなちゃん手形」の購入費助成（バス助成）と選択できるように、高齢者の外出を支えるサービスがさらに充実します。

の方は、体力的な要因などからバスを利用しにくくなっていると思われる、かなちゃん手形購入率も2・5割と低いことから、バス助成に代わり選択できるサービスとして実施します。申請された方1人につき、1枚600円のタクシー利用券を、年間最大8枚交付します。

かなちゃん手形も好評

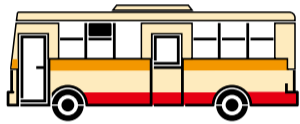
障がいがあることなどを要件とせず、助成を受けられるようにしたのは、

一方、70歳以上でバスを頻繁に利用

70歳以上の方の外出を支援 バス・タクシーで出掛けませんか

外出にご活用いただくため、高齢者の方を対象にバスやタクシーの利用費を助成しています。対象の方には5月下旬に案内通知を郵送します。

バス（かなちゃん手形）助成



タクシー助成



対象 70歳以上の方

市内在住で世帯員全員が85歳以上の方（1人暮らしを含む）

※市から他の交通費助成を受けていない、施設入所中や入院中でないなど、条件があります。

助成内容 購入金額を4800円助成し、自己負担額を5050円に。

高齢者タクシー利用券（1枚600円）を年間最大8枚交付。

申し込み 直接、特設会場（日程、会場は下表参照）へ。

印鑑を持ち、5月1日から直接、介護福祉課または特設会場（下表参照）へ。

申し込み日程と会場

タクシー助成	
5月1日～30年3月30日 8時30分～17時15分	介護福祉課
6月5日 10時～15時	南毛利公民館
6日 10時～15時	相川公民館
7日 10時～15時	荻野公民館
8日 10時～15時	睦合西公民館
9日 10時～15時	依知北公民館

※交付枚数は7月～9月が6枚、10月～12月が4枚、1月～3月が2枚となります。

バス（かなちゃん手形） タクシー助成

6月19日	小鮎・玉川公民館
20日	森の里・睦合西公民館
21日	上荻野分館・相川公民館
22日	依知北・厚木北公民館
23日	南毛利・厚木南公民館
26日	緑ヶ丘・依知南公民館
27日	荻野公民館
28日	睦合南・愛甲公民館
29日	老人福祉センター寿荘
30日	老人福祉センター寿荘・睦合北公民館
7月1日	老人福祉センター寿荘
7月2日～8月31日	神奈中本厚木駅前サービスセンター

される方には、バス助成がお得です。かなちゃん手形は、神奈川中央交通の路線バスを1回100円（深夜は200円）で利用できる割引乗車券。平成17年から購入費用の助成を開始し、利用者から「経済的に助かる」「気軽に乗れるようになり外出が楽しみになった」などと好評です。かなちゃん手形は通常9850円ですが、市の助成を利用すると自己負担額5050円で購入できます。他の助成制度の拡充などに伴い自己負担額が

市ではこの他、65歳以上の方に宿泊・入浴施設などの利用料金を助成するシルバーチケットも交付しています。1人暮らしや高齢者のみの世帯が増加する中、高齢者が積極的に外出できるような環境を整え、健康づくりや生きがいづくりを支えていきます。

☎介護福祉課 ☎225-2224

生きがいづくりを支えて

上がりましたので、ご注意ください。

高齢者の社会参加を後押し

地域で進む 居場所づくり

高齢者がいつまでも元気で、生きがいを持って生きていくために、各地域で居場所づくりが始まっています。今年、新たにできた三つの「居場所」を紹介します。

はあと♡さろん

日時 毎月1回（次回は5月28日、13時～15時）
会場 サービスハウス「ポポロ」（戸室1-41-1）
内容 高齢者の交流・相談
費用 100円（飲み物・菓子付き）

家庭的で温かい居場所づくりを目指しています。どなたでも気軽にご参加ください。



代表 熊澤裕子さん

オレンジカフェとむろ～認知症カフェ～

日時 毎月第3火曜、13時30分～15時30分
会場 はなの家とむろ（戸室5-9-15）
内容 医療・介護の相談、ミニ講座（どなたでも利用可能）
費用 100円（飲み物・菓子付き）

「そらとうみとたいよう」との会～若年性認知症カフェ～

日時 8月19日、10時～13時
会場 (株)ミュー相談支援事業所「わたしの夢」（戸室1-41-1）
内容 若年性認知症の方が対象のレクリエーション、家族の情報交換
費用 300円（飲み物・軽食付き）

☎介護福祉課 ☎225-2224



あつき 元気Wave
CATV 5/1~放送
子育て支援制度を紹介

保護者に寄り添い悩みを聞く中国相談員

親子でものづくりを楽しもう 少年少女フェスティバル

「あつき子ども月間」にちなみ、おもちゃづくりを通して親子の絆を深め、ものづくりの楽しさを知るイベントを開催します。ぜひお越しください。



日時 5月21日 11時~16時

会場 アミュあつき8階
屋内広場solaなど

内容 空気砲、紙ブーメラン、万華鏡、竹笛、輪ゴム鉄砲、ゴリゴリプロペラ、水鉄砲、スーパー竹とんぼ、プラトンボなど。

☎当日直接会場へ。

☎青少年課 ☎225-2580

参加無料

Zoom Up

育児の不安や悩みを解消

子育て専門相談員を配置

子育て中の家庭にとって、子どもの成長のことなど、育児に対する不安や悩みは付きものです。こうした不安を少しでも取り除こうと、市では専門の相談員を配置しました。市独自の支援制度と併せて、安心して子育てができる環境づくりをサポートします。

ベテラン保育士が対応

「最近子どもがあまりご飯を食べない」「他の子に比べて落ち着きがないかも」「子育てに自信が持てない」。アミュあつき内にある子育て支援センター「もみじの手」には、子育てに関わるさまざまな相談が寄せられ、保育士が保護者の悩みや疑問に答えています。市では、多様化する相談に対応できるように、もみじの手の相談体制のさらなる強化に取り組んでいます。

市では4月から、もみじの手に経験豊富な保育士一人を専門相談員として配置しました。相談員は、もみじの手で保護者からの相談に応じる中心的な役割。他の保育士のスキルアップにも携わります。また、家庭の事情などで施設まで来所できない保護者には、直接家庭に訪問して話を聴き、必要なアドバイスをしたり、専門機関を紹介したりと、保護者が発するSOSに手を差し伸べています。

市では子育てを支援するため、中学生までを対象にした県内トップクラスの子ども医療費の助成や、第二子以降の紙おむつの支給、おむつ替えや授乳ができる施設「ベベリア」の設置など、さまざまな子育て支援制度を用意しています。

5月は子どもたちの未来を考える「あつき子ども月間」です。市の支援制度を有効活用して、子育てを楽しみましょう。

☎子育て支援センター ☎225-2922

制度の有効活用を

(69)。「自分の知識や経験が少しでも皆さんの役に立てばうれしい。一人で思い悩まず、何でも気軽に相談してください」と呼びかけます。相談した保護者からは「ベテランの保育士の意見はとても参考になる。助言をもらえてほっとした」「子どもが生まれたばかりだったので、自宅に来て話を聞いてもらえて助かった」といった声が寄せられるなど、悩みを抱える子育て世帯の不安の解消に努めています。

市民協働提案事業

市民協働でより良いまちに

地域が抱える課題の解決や市民サービスの向上を目指して、市民活動団体と市が協力する市民協働提案事業を実施しています。平成21年から始まったこの制度は、今まで24件の事業が採用されています。

採用事業例

あつき素敵美術館事業



気軽に芸術作品に触れることができる野外彫刻造形展を開催

Tobioギャラリー事業



商店街の空き店舗を利用して、地域住民が気軽に立ち寄れる居場所を提供

食育フェア



食の大切さを見直すことを目的に、講演会やクイズ教室などのイベントを開催

落書き消去活動等体験事業



落書きをさせない街づくりを目指し、市民と共に消去活動を体験する講座を開催

市民協働提案事業

募集します

市と一緒に地域の課題やまちづくりに取り組む企画を募集します。

募集期間 5月22日まで

対象 ①活動拠点が市内②代表者を含み3人以上の役員を置き、構成員の5人以上が市民である③会則があり、適正な会計処理をしている④の全てを満たす団体

市民活動推進補助金

ボランティアなど、公益的な市民活動をする団体に、事業費の一部を補助します。

募集期間 5月1日~6月9日

対象 ①市民が自発的、自立的に活動②不特定多数の市民の利益増進が目的③市内に主たる事務所または活動拠点がある④次年度以降も継続して活動する見込みがある⑤構成員が3人以上⑥の全てを満たす団体

補助金額 補助対象経費から収入を控除した額の2分の1 (上限10万円)

☎いずれも、市民協働推進課や公民館などにある申請書(HPからダウンロード可)に必要な事項を書き、直接、市民協働推進課へ。☎市民協働推進課 ☎225-2141



市内の中学校や高校では、自転車事故の恐ろしさを実感し安全の意識を高めるため、スタントマンが事故を再現する「スクエアドストリート教育法」を取り入れた交通安全教室を開催しています。



自転車シミュレーターで交通ルールを学ぶ厚木中の生徒たち

「安全確認を怠ると、車だけでなく歩行者と事故を起こす危険性があります。あらかじめ「生徒」としてはゲーム感覚かもしれないが、危険な箇所がどこに潜み、それをどう対処すべきかを考えるいい機会になった」と、その効果を訴えます。

手遅れになる前に

「高校生になれば自転車を利用する機会が増える。事故に遭ったり、事故

を起こしたりする前に、もう一度、交通ルールや運転のマナーを学習してほしい」と話すのは、厚木中の宮崎昌彦校長(58)。市内の自転車事故の4割を未成年者が占める状況を踏まえ、いち早くシミュレーターを活用を図りました。春休み前の10日間、昼の休み時間に生徒たちが自由に体験できるように職員玄関の脇に設置。実際に体験した2年生の吉川理子さん(13)は

「走る前に必ず後ろを見て」「危ない、車の影に人がいるよ」。厚木中学校の校内に、危険を知らせる生徒たちの声飛び交います。自転車の運転を疑似体験できる自転車シミュレーターを使った交通安全講習の一コマです。運転する生徒に、他の生徒たちが画面に映し出される危険箇所などの注意を呼び掛けながら、共に正しい運転ルールを学んでいます。

「安全確認を怠ると、車だけでなく歩行者と事故を起こす危険性があります。あらかじめ「生徒」としてはゲーム感覚かもしれないが、危険な箇所がどこに潜み、それをどう対処すべきかを考えるいい機会になった」と、その効果を訴えます。

油断や誤解が命取りに

昨年市内では、952件の交通事故が発生し、7人の方が亡くなりました。中でも200件を占める自転車事故は、5年間で6人の方が命を落とし、件数に表れないトラブルも後を絶ちません。多くはルールや安全に対する意識の低さが原因。5月は「自転車マナーアップ強化月間」です。この機会にもつ一度、事故を起こさない自転車の乗り方について考えてみましょう。

自転車事故から

身を守れ



清水小の児童のヘルメット着用率は97%

助成対象を高校生まで拡大 自転車ヘルメット購入費の助成

《対象》市内在住の①幼児・児童の保護者②中学生または保護者③高校生または保護者④65歳以上の高齢者—のいずれかに該当する方
《期間》平成30年3月31日まで
《助成額》新品の自転車ヘルメット1個につき1000円。1人につき年1個まで。
《購入方法》助成券兼申請書に必要事項を書き、対象店舗で提示。

詳しくは [厚木市 自転車ヘルメット](#) [検索](#)

手本になるように心掛けましょう。

自転車を手本に見ないで

「自転車は、いつも被害者とは限らない」と話すのは厚木警察交通第一課の五味健一郎課長(39)。「自転車は走れば車の仲間。事故に遭うだけでなく、事故を起こせば加害者として損害賠償や刑事責任を負うことになる」と警鐘を鳴らします。自転車による人身事故は、これまでも多額の賠償金を支払う事例が数多く報告されています。

便利だから正しいルールを

市では28年度、交通事故撲滅を目指す第10次交通安全計画を策定。自転車事故の防止を重点項目に指定しました。5月の自転車マナーアップ強化月間に合わせて、警察や交通関係団体と連携を図り、自転車利用の多い高校生を中心にルールやマナーを守る大切さを伝えていきます。

「幼い頃から交通安全の意識を養うのは良いこと。でも、親や家族がルールを守っていないと、何の意味もない」と地域で見守り活動に取り組みむ交通安全全母の会連絡協議会の大内江公会長(64・旭町)は指摘します。「子どもは親の姿をまねるもの。だからこそ、まずは保護者が正しい知識を持ち、手本を示してほしい」と訴えます。

事故に遭わない・起こさないためには、正しい交通ルールを理解し、安全確認を徹底することが大切。そのためにも学校や地域で開催される交通安全教室を活用してください。参加した際は、見たり聞いたりしたことを、その場だけで終わりにせず、日常生活の中で実践するように心掛けましょう。教わったルールやマナーは家庭内で共有し、外に出掛ける際には危険箇所を互いに確かめ合うなどして、繰り返し交通安全の意識を高めることが事故を防ぐことにつながります。



警察官が高校で自転車の正しい乗り方を指導

誤った理解が事故につながる

厚木警察 交通第一課長
五味 健一郎さん(39)



事故の多くは、交差点や見通しの悪い道路で起きています。一時停止を守らなかったり、安全確認を怠ったりと、ちょっとしたことが原因です。自転車は免許を必要としないため、子どもでも運転できますが、その気軽さから多くの人ルールを軽く見る傾向があり、誤った理解を生んでいるようです。

事故に遭わない・起こさないためには、正しい交通ルールを理解し、安全確認を徹底することが大切。そのためにも学校や地域で開催される交通安全教室を活用してください。参加した際は、見たり聞いたりしたことを、その場だけで終わりにせず、日常生活の中で実践するように心掛けましょう。教わったルールやマナーは家庭内で共有し、外に出掛ける際には危険箇所を互いに確かめ合うなどして、繰り返し交通安全の意識を高めることが事故を防ぐことにつながります。

あなたの常識大丈夫ですか? 間違いだらけの自転車ルール

普段自転車を運転する際に意外と見落とししてしまう五つのポイントを紹介します。



①自転車は車道が原則

車と同じ車道の左側を走るのが原則。ただし、例外として次の場合は、歩道を走れます。
●左の標識がある場合
●13歳未満の児童または70歳以上、体に障がいがある運転者の場合

②ベルはむやみに鳴らさない

ベルは事故を避ける場合や、「警笛鳴らせ」の道路標識がある場合のみ鳴らすもの。歩行者に対してむやみにベルを鳴らすと2万円以下の罰金が科せられます。



③自転車は歩行者ではない



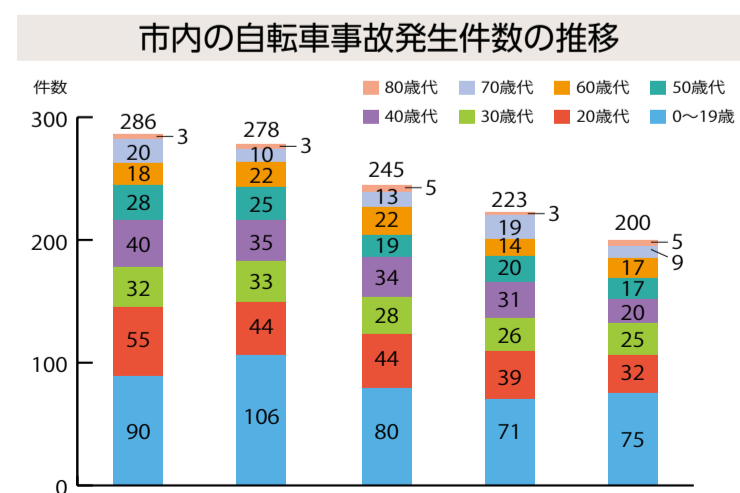
歩行者用の横断歩道は必ず自転車を下りて歩くもの。自転車は乗れば軽車両と同様に道路標識や信号を守らなくてはなりません。

④ライトは照らすものではない

ライトは自分の足元を照らすだけでなく、相手に自分の存在を知らせるもの。無灯火状態で走ると、自動車などからの認知が遅れ、事故の原因になります。

⑤ひき逃げ・当て逃げは立派な犯罪

万が一、歩行者や自転車などと接触した場合は必ず相手にけががないか確認すること。何もせずその場を立ち去れば、1年以下の懲役または10万円以下の罰金が科せられる場合があります。



市内の自転車事故発生件数の推移

年	0~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	合計
平成24年	90	55	32	40	28	18	20	286	3
平成25年	106	44	33	35	25	22	10	278	3
平成26年	80	44	28	34	19	22	13	245	5
平成27年	71	39	26	31	14	19	19	223	3
平成28年	75	32	25	20	17	17	17	200	5



問 交通安全課 ☎225-2760

自慢の野菜をご賞味あれ 荻野運動公園で「夕焼け市」始まる



市内産の新鮮な食材がずらりと並ぶ

市内産の新鮮な野菜や農畜産物などが販売される「夕焼け市」が、今年も荻野運動公園で始まりました。初日には、ハーモニカの演奏や買物券のプレゼントなどが実施され、来場者を楽しませました。夕焼け市は、地産地消の推進や生産者と消費者の触れ合いの場として平成11年にスタート。多くの市民の皆さんに厚木の台所として親しまれています。買い物に来ていた市野宏子さん（64）は「生産者が直接販売する野菜は新鮮で安心。毎年楽しみにしている」と笑顔を見せました。

期間は10月25日まで。8月までは午後5時から、9月からは午後4時から毎週水曜に60分ほど開催されます。

まちの魅力をご案内 本厚木駅構内に「あつNAVI」登場

まちの情報を効果的に発信しようと市は4月1日、本厚木駅構内にある連絡所に電子看板「あつぎシティナビゲーション（あつNAVI）」を設置し、運用を始めました。あつNAVIは高さ12.2m×幅6.9mの縦型ディスプレイで、連絡所内に4台設置しました。駅の開所時間である午前4時40分から翌午前1時ごろまでの間、1日15万人以上乗降する本厚木駅の利用者に向けて、街の魅力やイベント情報、旬の話題などを発信しています。4台のうち2台は可動式で、イベントや災害時には駅前広場へ移動し、災害・避難情報などをお知らせする掲示板として活用していきます。



旬な情報をいち早く配信する「あつNAVI」



健やかな成長を祈願して

恩曾川の空に舞う250匹のこいのぼり

4月中旬、寄贈などで集まったおよそ250匹のこいのぼりが、温水の地蔵橋親水広場に飾り付けられました。設置したのは、「恩曾川をきれいにする会」の皆さんです。子どもの健やかな成長と、住民相互の交流の場づくりを目的に、平成25年から毎年実施しています。広場は地域の散歩道としても親しまれ、大空を元気に泳ぐこいのぼりが、道行く人々の目を楽しませています。朝から設置作業に励んでいた会長の関口正昭さん（75）は、「今年は南毛利地区以外からの寄贈もあり、例年より多くのこいのぼりが集まった。ピクニックや散歩などをしながら、家族で楽しんでほしい」と呼び掛けています。こいのぼりが飾られるのは、5月9日まで。森の里の若宮公園でも、5日まで設置されています。



大空をのびのびと泳ぐこいのぼり

災害時でも被災者に手紙を 市と郵便局が災害協定

市役所を訪問し、市長と災害時の連携の重要性などについて懇談しました。大島局長は、「万が一のときは高い機動力を生かして、市と協力し、局員総出で被災者に安心を届けた」と話していました。



災害時の迅速な情報伝達を約束

市と厚木郵便局が4月1日、災害時ににおける郵便物の配達に関する協定を結びました。災害発生時に、避難者などの被災者情報を市と郵便局で共有し、避難所へ郵便物を迅速に配達できるようにする内容です。相互に車両を提供することなども含まれ、市と郵便局が協力して、安否確認などにつながる大切な郵便物を避難所に届けます。4月5日には、大島和典郵便局長（写真中央）らが市役所を訪問し、市長と災害時の連携の重要性などについて懇談しました。大島局長は、「万が一のときは高い機動力を生かして、市と協力し、局員総出で被災者に安心を届けた」と話していました。

ドンドコドン。勇ましくも心地よい音色の主は、相模国飯山白龍太鼓保存会の皆さんです。遅咲きの桜が舞い散る「あつぎ飯山桜まつり」のステージで、結成40周年を記念した演奏を披露しました。昭和51年、飯山温泉のあるじたちの手で始められた白龍太鼓。地域に伝わる「白龍伝説」の雨乞い太鼓が基となっています。子ども会活動などで技術を受け継ぎ、小学生から社



桜まつりで白龍太鼓保存会の皆さんと

ます。こうした活動を続ける難しさを身をもって知っているだけに、40年の活動には頭の下がる思いです。東日本大震災後には、宮城県石巻市へ出向いて演奏を披露した皆さん。そこで築いた友情は、今回の桜まつりでの同市和太鼓チームの出演につながっています。世代を超えて進化する白龍太鼓。地域活動の基盤として、これまで以上に幅広い活躍を期待しています。

会人、主婦までの40人が活動。会を切り盛りするのは、20代、30代のメンバーです。私も地元神社の太鼓保存会で、子どもたちに太鼓を教えることができました。仕事で続けることはできませんでしたが、仲間たちは今でも地域づくりに励んでくれます。

アツギ X NEW ZEALAND ホストタウン通信



ニュージーランド NZ女子ラグビー代表選手とのキャンプ交流

3月11日～18日と4月10日～16日の2度にわたり、NZ女子7人制ラグビーの選手たちが荻野運動公園でキャンプを実施しました。3月には、NZ育成チームと日本の育成チーム、香港代表、神奈川県選抜チームが親善試合を開催。4月には世界トップレベルの実力を持つNZ代表チーム「ブラック・ファーンズ・セブンズ」が滞在し、北九州市で開かれる国際大会に向け練習を重ねました。キャンプ期間中NZの選手たちは、市内の小学校への訪問や、市内外のラグビーチームの子どもたちを対象にしたラグビー教室を実施。一緒に給食を食べたり、ラグビーをしたりと、子どもたちとの交流を深めました。2020年の東京オリンピック・パラリンピック以降も交流が続くように、今後も、市民の皆さんにNZの文化や選手と触れ合える機会を提供していきます。

2020年東京オリンピック・パラリンピック（東京五輪）に向けて、ホストタウンとなったニュージーランドとの交流事業を紹介します。

タウンガイド

5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	

マイタウンクラブ
 ①印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「①②」と記されたものは、申し込みもできます。
 ③=申し込み ④=問い合わせ
 ⑤=電話番号 ⑥=ファクス番号
 ⑦=Eメール ⑧=市ホームページ

スポーツなじみDAY

5月20日、10時～15時30分。荻野運動公園。気軽にニュースポーツを楽しむ。《種目》屋内=バウンズボール、キンボール、ドッチビー、カーレット、ビーチボール、体力チェックコーナーなど(室内履きをお持ちください)。屋外=ターゲット・バードゴルフ、グラウンド・ゴルフなど(雨天時は屋内種目のみ)。無料。③当日直接会場へ。④スポーツ推進課☎225-2531。

市立病院「看護の日」記念行事

5月10日=ワゴンティーサービス(入院患者対象)、ロビーコンサート。5月11日=記念給食(入院患者対象)。7月28日、8月4日=1日看護体験(高校生対象)。写真展も同時開催。いずれも会場は市立病院。④病院総務課☎221-1570。

親子収穫体験～タマネギ&ジャガイモ収穫!～

6月18日、9時30分～14時30分。

七沢自然ふれあいセンター。収穫体験(タマネギ・ジャガイモ)、野外炊事など。市内在住の親子70人。750円(保険料、材料費)、2歳以下44円(保険料のみ)。③直接、電話またはファクスに催し名、〒住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、電話番号、参加人数を書き、5月18日までに七沢自然ふれあいセンター☎248-3500・☎248-4708へ。抽選。①④162951

アミューあつぎに「夢未市」が特別出店

5月20日、10時～14時。アミューあつぎ。JAあつぎ農産物直売所「夢未市」が特別出店。新鮮野菜や厚木産の米「キヌヒカリ」などの販売。④商業にぎわい課☎225-2834。

キッズスポーツ教室

7月～11月までの第2・4土曜(全10回)。9時～12時。緑ヶ丘小学校など。小学生の男女20人程度。1000円(保険料含む)。③電話またはファクスに〒住所、氏名、年齢、学年、性別、電話番号を書き、N

PO法人厚木スポーツクラブ・田上☎090-4914-0438・☎221-1361へ。先着順。

家庭でも役立つ認知症予防初級資格講座

5月20日、10時～17時。厚木ヤクルト販売(株)。一般社団法人脳活トレーナー協会理事長から認知症予防の知識やトレーニングを学ぶ。定員20人。7560円(テキスト代など)。③当日までに電話で脳活トレーナー協会事務局・岡田☎090-3254-9735へ。先着順。

里山保全ボランティアを募集

地域の皆さんと一緒に田植えや稲刈り、棚田の保全などをしていただく方を募集します。

《活動日》①5月27日②6月3日から月1回(1年間)《場所》①七沢②荻野《対象》市内在住在勤在学の方。③電話またはファクスに〒住所、氏名、電話番号、希望地区を書き、5月15日までに環境政策課☎225-2746・☎223-1668へ。①④172022②172023

市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議の委員を募集

人口減少に歯止めをかけるための取り組みなどに意見をいただく委員を募集します。

《対象》①市内在住在勤在学の応募日現在18歳以上②平日昼間の会議(年2回程度)に出席できる③他の審議会などの委員でない④市の議員・職員でない⑤の全てを満たす方3人《任期》6月中旬～(2年間を

予定)《報酬》日額7800円(交通費含む)。③企画政策課にある申込書(☎からダウンロード可)に必要な事項と応募動機(400字程度)を書き、直接または郵送、ファクス、Eメールで5月24日(必着)までに〒243-8511企画政策課☎225-2455・☎225-3732・✉1100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。書類選考あり。

工業統計調査に協力を

製造業を営む4人以上の従業員がいる事業所を対象に、工業統計調査を実施します。5月中旬から調査員が各事業所に伺うので、ご協力をお願いします。提出された内容は、統計以外には使用しません。④行政経営課☎225-2180。

日本赤十字社の活動に協力を

5月は日本赤十字社「会員増強運動月間」です。日本赤十字社の活動は、皆さんの寄付により運営されています。平成28年度は、市内で1689万3994円の寄付をいただきました。ご協力ありがとうございました。④日本赤十字社神奈川支部厚木市地区事務局☎225-2200。

ヘルプマークを見掛けたら手助けを

内部障がいなど、外見から分かっていても援助が必要な方にヘルプカードを配布しています。街でこのマークを見掛けたら、電車やバスで席を譲るなど、配慮や支援をお願いします。④障がい福祉課☎225-2221。



美しいバラの中で特別なひとときを
第4回 相模川ローズガーデンフェスティバル

55種、約1300本の美しいバラを眺めながら、食やステージを楽しむイベントを開催します。本場徳島県などから4団体をゲストに招き、阿波踊りのステージも開催。ぜひ、ご来場ください。

5月13日(土) 14時～
 (荒天の場合は中止)
 相模川ローズガーデン
 ミニコンサート、阿波踊り、高校生ヒップホップダンス、模擬店など

会場のイベントに先駆け、みなみ大通りでは、12時30分～14時30分まで阿波踊りパレードを実施します。
 ※駐車場はありません

④県央経営者会☎296-7010

あつぎ市民芸術文化祭
市民参加ミュージカル「眠れる森の美女」
 出演者・ボランティアスタッフ募集

今年のおつぎ市民芸術文化祭「市民芸術祭」は、ミュージカル「眠れる森の美女」。多くの仲間と一緒に作品を作り上げてみませんか。

公演日 **12月10日**
 会場 **文化会館大ホール**

■出演者オーディション
 《日時》7月1日 10時～16時(受け付けは9時30分～) 《会場》文化会館
 《対象》小学3年生以上の男女60人程度 《参加費》3000円(合格者のみ)
 《練習日》9月～12月の土・日曜、祝日(1回5～6時間・全20回程度)
 ③ハガキに「ミュージカル希望」、〒住所、氏名(ふりがな)、年齢(学年)、性別、電話番号を書き、6月9日(必着)までに〒243-8511文化生涯学習課へ。

■ボランティアスタッフ募集
 《内容》練習や公演の運営手伝い ③7月31日までに文化生涯学習課へ。

④文化生涯学習課☎225-2508 前回講演の様子

ホット インターネットモニターからの意見を紹介

いいメール Hot E-Mail

厚木市 インターネットモニター 検索

4月1日号「広報あつぎ」を読んで
 ◆厚木高校の生徒が世界で活躍する姿に、市民として誇りを感じた/50代女性◆命を預かる保育士たちの待遇がもっとよくなればと思う/30代女性◆厚木南公民館のオープンを楽しみにしていたので、うれしい/50代男性◆観光以外にももっといろんな情報を発信してほしい/70代以上男性◆東京オリンピックに向けて行政の後押しでインバウンドを狙い、地元の人でも行きたくなるような観光資源を開発してほしい/30代女性

編集後記 特集で取材した警察官から「子どもの頃に交通ルールを学びましたか」と聞かれました。振り返ると、ルールを「勉強」したのは、自動車の免許を取得した時でした。小さい頃は「あの道は狭いから気を付けて」「交差点は必ず止まって車が来ないか確認して」と外出前に親からいつも言われていました。その言葉が私にとっての交通ルールとなって、長い間自分を守ってくれたのかもしれない/佐藤



第43回

厚木市 緑のまつり

入場無料

テーマ

「その種は 100年かければ 立派な木」

依知中2年・山中りこさん作

今年もきれいに咲いた市の花「さつき」や、鮮やかな緑が会場を彩ります。盆栽の展示や即売、華麗なステージパフォーマンスなど、楽しい催しが盛りだくさん。花や緑が与えてくれる安らぎを体感してみませんか。

日時 5月13日(土)・14日(日) (雨天実施)
10時～16時 (開始式13日、9時30分～)

厚木中央公園

- ◆花と緑のステージ (ダンス・楽器演奏など)
- ◆植木市、草花や野菜の苗の販売、スタンプラリー、緑の相談・鉢物植え替え・市民朝市・ハンドメイド・各団体出展コーナーなど



◆緑に親しもう教室《13日》コケ玉教室 = ①11時～②13時～。各回20人。500円。
小品盆栽教室 =

- ①11時30分～②13時30分～。各回15人。1500円《14日》多肉植物教室 = 10時30分～。定員20人。1200円。ギャザリング寄せ植え教室 = 13時～。定員20人。1700円。押し花教室 = ①11時30分～②14時30分～。各回20人。100円。
- ☎5月12日までに公園緑地課へ。先着順。
- ◆光ヶ丘幼稚園パレード※13日のみ 10時～ (雨天中止)。
- ◆宇宙戦隊キュウレンジャーショー※14日のみ ①10時30分～②14時50分～。
- ◆花壇の花苗無料配布※14日のみ 13時～整理券、15時～花苗を配布。

厚木公園 ※13日は18時まで

- ◆サツキの展示会・盆栽の即売と相談・苗無料配布 (13時～。先着120人)・育て方講習会 (14時～)、山野草展、盆栽展、骨董市、ジャズ演奏 (13日、10時～)



☎公園緑地課 ☎225-2412

ひろみちお兄さんの 親子運動あそび



NHKのテレビ番組「おかあさんといっしょ」で長年体操のお兄さんを務めた、佐藤弘道さんによる親子体操教室を開催します。家族そろってご参加ください。

無料

(学)日本体育大学連携事業

日時 6月24日(土) 15時～16時30分

会場 荻野運動公園メインアリーナ

対象 市内在住在学の3歳～小学2年生とその保護者100組程度

☎往復ハガキに〒住所、氏名、年齢、電話番号、保護者氏名、参加人数を書き、5月26日(必着)までに〒243-8511スポーツ推進課へ。抽選。応募は1組1枚。詳しくは、学校や公民館などにあるチラシや、☎をご覧ください。

☎スポーツ推進課 ☎225-2531

自然歳時記

●イタチ●
イタチ科

体長は雄30センチ、雌20センチほどで大きさがかなり違っている。土手に残っている水辺を好み、市街地にも現れることがある。石の上などでふんを見掛ける／広町公園で見つけた。
写真・文/吉田文雄



誰もいない昼下がり、水抜きの穴からかわいらしい顔が現れた。石の上を行ったり来たり、キョロキョロしたりしながら何かを探している様子。

以前この場所でイタチのふんを見掛けたが、まさかここで出会うとは思わなかった。水辺に近づき素早くザリガニを捕まえると、飲

み込むように食べ、体をブルッと震わせ水気を飛ばした。再び水辺に向かい岩の隙間に入って獲物を探していたが、土手の向こうを人が通ると、背中を丸めてそそくさと立ち去った。

しばらく待ったが、それっきり現れなかった。若葉のまぶしい季節、新しい発見が今日も待っている。

厚木市の人口
(4月1日現在)

世帯数 9万7132世帯 (前月比400世帯増)

人口 22万4994人 (前月比138人減) 男11万6233人・女10万8761人